



～こどもたちの「こうりたい」を実現する～

発行：シダックス大新東ヒューマンサービス(株)学童保育事業本部

こどもたちと日々接する「支援員」

日々、「第2の我が家」でこどもたちの帰りを待つ「支援員」。こどもたちと接する時間を大切にしながら、保育に関する知識を深め、更新していけるよう、動画を活用した研修体制を整備。また、様々な特性を持つこどもたちと、より良い関係性を築いていけるよう、専門家による悩みや問題に対するアドバイス、必要に応じて施設で直接指導を行うサポート体制（キッズサポートチーム）を整備しています。

<p>入社時基本研修 こどもの権利と安全を守るための15ヶ条</p>	<p>考える力は学校で、 感じる力は 学童で保ち夢を育む</p> <p>チャイルドケアプログラム・初級 感性保育</p>	<p>「面談コミュニケーション」と「研修場コミュニケーション」</p> <p>チャイルドケアプログラム・初級 コミュニケーション</p>	<p>アレルギーについて</p> <p>チャイルドケアプログラム・中級 アレルギーについて</p>
--	--	--	---

地域の中で育つこどもたち！

私たちが運営する施設では、こどもたちが様々な価値観に触れることができるよう、また、こどもたちの育ちを、地域ぐるみで見守っていただけるよう、地域の方々とのつながりを大切に考えています。

宗像市赤間西小学校学童保育所 世代を超えたスポーツ交流

地域活動「ニュースポーツを楽しもう!!」に参加し、地域の方々と世代を超えてスポーツ交流を楽しみました。小学校の体育館で、モルック、カーリング、五目お手玉、そして新登場のラダーゲッターを満喫。中でもラダーゲッターはこどもたちに大人気。「難しかったけど、一番楽しかった!」と、熱中する姿が見られました。日頃から地域活動に参加しているおかげで、こどもたちも支援員も地域の方々と良好な関係を築いています。スポーツを通じて、世代を超えた笑顔の交流が深まりました。



松本市新村児童センター 大学生と力を合わせて実現!夏のわくわくえんにち

夏休みの終盤、昨年度に引き続き松本大学の学生の皆様と共同企画の「わくわくえんにち」(夏まつり)が行われました。射的、ホッケーボウリング、ダーツ、輪投げ、千本引き、金魚すくい、お宝釣りなど盛りだくさん!異年齢でグループを作り、各ブースをまわりました。食育に関するコーナーではグループで力を合わせてクイズに取り組みました。夏休み最終週に楽しい思い出ができました。



ここは「第2の我が家」



私たちは「未来の子供たちのために」を標榜し、より良い社会づくりの視点で、人々と共に「安心」「安全」「笑顔」の日々をつくることを理念としています。放課後児童クラブの運営は、この理念の根幹としての事業。私たちは、施設での日々の生活を通じて、こどもたちが心身ともに健全に成長し、可能性を広げ、これからの社会に飛び立っていく後押しとなるよう、日々の保育にあたっています。



「感動する心を育む」感性保育プログラム

感性保育は、一人ひとりのこどもが本来持つ感受性と自己肯定感を育むことを軸とした保育の考え方です。自らの「好き」を感じ取り物事を多面的に理解するための心のセンサーである「感性」と、困難に前向きに乗り越えるための力の源となる「自己肯定感」を育む、すなわち「感じる力」の育成を大切にしています。

この感性保育を具現化する取り組みとして、研修講師であるプロの表現者による「絵本劇」を実施。物語に合わせた語りと演技が融合した臨場感あふれる演出により、こどもたちは自然と物語の世界に深く引き込まれ、感情を解放し、豊かな感性と自己肯定感を高める経験を得ています。



自己肯定感を高める ふわふわの木

こどもたちの自己肯定感を高め、他者への思いやりの心を育むことを目的とした取り組みです。広島県の施設の好事例を全国施設へ展開致しました。言っとうれしい・言われて嬉しいふわふわ言葉をたくさん掲示することで、ふわふわの木は育っていきます。こどもたちの「聴く言葉」「話す言葉」がふわふわ言葉で満たされることで、豊かな心の成長に繋がっていきます。



楽しみながら学び、 健やかに成長していくために

日々の取組みの中で、3つの育成指針「健全育成」「学習支援」「生活支援」に沿った体験を提供しています。



SDGsの意識付け

未来の担い手である子どもたちが、より良い世界を作っていくための力を身に付けていけるよう、日々の中でSDGsの学びにつながる取組みを行っています。

01 健全育成

遊びや表現活動を通じて、心身の健全な育成を支援します。



みんなのかいぎ

～子どもの意見を反映する機会づくり～

子どもたちが主体となって、施設をより良くするために話し合いを実施しています。取り扱うテーマは、問題の改善策、イベントの計画、遊びのルールの見直しなど多岐にわたります。子どもたちが自らの考えを言葉にし、他者の意見に耳を傾け、自分たちで決定し実行することで、様々な社会的な力が育まれます。



季節のイベント

季節のイベント毎に様々な工作ツールを用意。子どもたちは思い思いの表現活動を楽しんでいます。



プロ表現者による「絵本劇」

子どもたちに、心が動く体験を提供し、豊かな感性を育みます。



タグラグビー

通常のラグビーとは異なり、接触プレーが無いので、年齢を問わず誰でも安全に楽しめます。



02 学習支援

楽しみながら、“学び”のきっかけとなる興味関心を育みます。



宿題の習慣化

日々の生活の中で、宿題に取り組む時間を設定しています。習慣化することで、支援員が声掛けせずとも、自ら取り組む様子も見られます。



英会話・プログラミング

子どもたちが、楽しみながら英語やプログラミングに触れることができる機会を提供します。
※施設により導入状況が異なります。



動画コンテンツの活用

SDGsや英語、食育、なぞとき等、様々なジャンルの動画を取り揃え、室内活動に活用しています。



夏のオンラインプログラム

猛暑が続く、外で遊べない夏休みには屋内でも子どもたちが充実して楽しめるようにオンラインイベントを多数実施しています。全国の子どもたちとの交流もオンラインイベントでの醍醐味です。



03 生活支援

生きていくうえで必要な知識習得や、基本的な生活習慣を身につけるサポートを行います。また、家庭と連携することで、より包括的なケアを提供します。



生活習慣

施設での生活を通じて「脱いだ靴を揃える」「掃除をする」などの行為を積極的に取り組むようになった児童も。



家庭との連携

送迎時の会話や、連絡ノート・保育アプリを活用したコミュニケーションにより保護者の皆さまとより良いリレーションを図ります。

※施設により実施内容が異なります。



©SHIDAX-DAISHINTO-HUMAN SERVICE CO.

防犯・防災の意識づけ

万が一の事態に備え、定期的な防災訓練を実施しています。また、子どもたち自身が危険を感じた場所を書き込んだ「安全マップ」を作成し、怪我や事故の防止に努めています。



食育キャラバン隊

当社の管理栄養士を中心とし、子どもたちに向けて食育活動を展開。リアルやオンラインのイベント、動画コンテンツ等、多方面から発信しております。食育を楽しく学ぶことで食の大切さや健やかな食習慣が身に付きます。



毎月発行の「食育通信」

食に関する知識や、親子でクッキングが楽しめるレシピ等を紹介しております。

